

神話から未来へつなぐ さわやかな環境のまち 出雲



日御碕コミュニティセンター：風船かすら

いずもしかんきょう

出雲市環境レポート 2009

平成 20 年度 (2008) のまとめ



出 雲 市



はじめに

本市では平成 18 年度（2006）に、市民・事業者・行政が「神話から未来へつなぐ さわやかな環境のまち・出雲」をつくっていくために必要な取り組みを示した「出雲市環境基本計画」を策定しました。この計画では、本市のすばらしい環境を次世代に伝えていくため、環境の保全や地球温暖化防止に向けた市の取り組み、市民・事業所の行動や目標などを定めています。

「出雲市環境レポート」は、出雲市環境基本計画の進捗状況を点検・評価し、確実に進めるよう見直すとともに、より多くの方に本市の環境に関する取り組みをご覧いただき、取り組みにつなげていただくこと等を目的に、毎年発行することとしています。



もくじ

| | |
|---------------------------------|----|
| 出雲市環境基本計画の基本目標 | 1 |
| 「出雲市地域省エネルギービジョン」の方針 | 2 |
| 基本目標 1 澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち | 3 |
| 基本目標 2 人と自然がふれあい ともに生きるまち | 6 |
| 基本目標 3 悠久の歴史が息づく 美観と快適空間のまち | 8 |
| 基本目標 4 「もったいない」の心で築く 循環型のまち | 10 |
| 基本目標 5 地球を考え 地域から実践するまち | 14 |
| 基本目標 6 ともに学び行動する 環境意識が高いまち | 18 |
| グリーンカーテンの取組み | 19 |

出雲市環境基本計画の6つの基本目標



| | | | |
|---|---------------------|---|--|
| 生活環境の目標 澄んだ空気ときれいな水に潤い健康に暮らせるまち | 大気環境の保全 | ①車などの排気ガスの削減 ②大気汚染の防止 | |
| | 水環境の保全 | ①水域への排水対策 ②泳げる川と湖の創造 ③海域の保全 | |
| | 健康に暮らせる環境の保全 | ①騒音・振動・悪臭の防止 ②アスベスト問題への対応 ③住みよい暮らしづくり | |

| | | | |
|-----------------------------------|--------------------|--|--|
| 自然環境の目標 人と自然がふれあいに生きるまち | 野生動植物との共生 | ①トキと人との共生可能な環境づくり ②生態系を守る取り組み | |
| | 豊かな自然とのふれあい | ①自然環境の保全 ②自然とのふれあいの機会の創出 | |
| | 森林と農地の保全と再生 | ①森林を守り育てる取り組み ②農地の適正管理と活用 ③里山の保全と有効な活用 | |

| | | | |
|---------------------------------------|-------------------|---|--|
| 快適環境の目標 悠久の歴史が息づく美観と快適空間のまち | 景観保全と緑地の確保 | ①自然・歴史的景観の保全と活用 ②花と緑の確保 ③公園の整備と利用促進 | |
| | 環境美化の推進 | ①ポイ捨て・不法投棄への取り組み ②清掃活動の充実 | |

| | | | |
|--|----------------------|---|--|
| 循環型社会構築の目標 「もったいない」の心で築く循環型のまち | 廃棄物対策と資源循環の推進 | ①3R(発生抑制・再利用・再生利用)の推進 ②廃棄物の適正処理の推進 ③もったいない運動の推進 | |
| | 環境と経済の好循環の推進 | ①新エネルギーの普及と利用促進 ②環境に優しい製品の普及と利用促進 | |

| | | | |
|-----------------------------------|-------------------------|-------------------------------------|--|
| 地球環境の目標 地球を考え地域から実践するまち | 地球温暖化防止の取り組み | ①温室効果ガス抑制への取り組み ②危機意識を高めるための取り組み | |
| | 地球規模での環境問題への取り組み | ①オゾン層を守る取り組み ②他国からの漂着ごみ・黄砂への対応 | |

| | | | |
|--|-----------------------|---|--|
| 環境学習や環境保全活動の目標 とともに学び行動する環境意識が高いまち | 環境学習・環境保全活動の推進 | ①学校や地域での環境学習機会の充実 ②環境保全活動の推進 ③ISO14001 普及への取り組み | |
| | 環境情報の提供と共有 | ①環境情報提供の充実 ②環境啓発イベントの推進 | |

出雲市地域省エネルギービジョンの3つの方針



基本方針 1

地球を考え・学ぶ 【意識の向上】



環境学習推進プラン

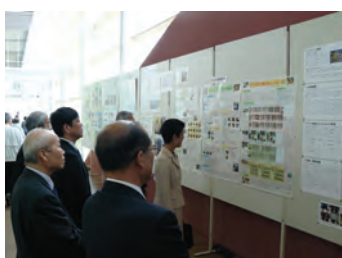
- ①(仮称)いずも環境講座の開催
- ②エコライフ・スローライフ体験学習等の推進
- ③学校における省エネ学習の推進
- ④「こどもエコクラブ」の活動促進

環境啓発イベント推進プラン

- ①イベント等での啓発
- ②環境にやさしいイベント運営
- ③市民・事業者の環境啓発支援

基本方針 2

省エネルギーを実践する 【省エネ実践】



情報発信プラン

- ①具体的な省エネメニューの発信
- ②市民・事業者・市の取り組み効果の公表

環境マネジメントシステム(EMS)普及促進プラン

- ①家庭版環境 ISO の普及
- ②事業所における「ISO14001」や「エコアクション21」等の普及
- ③「学校版エコライフチャレンジしまね」の普及
- ④市の環境マネジメントシステム等の運用

省エネ行動強化プラン

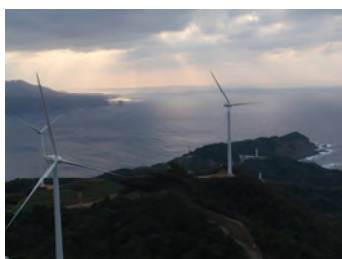
- ①緑のカーテンの普及
- ②マイカー利用の自粛
- ③ごみ減量化の推進
- ④市民運動の推進

省エネメリット還元プラン

- ①省エネポイント制度の創設

機器等の導入促進プラン

- ①公共施設への積極的導入
- ②事業所における省エネルギー診断の推進
- ③家庭・事業所における機器等の導入促進
- ④省エネ機器・新エネ機器の導入支援の検討



基本方針 3

取り組みを継続・拡大する 【取り組みの継続・拡大】



推進組織の設立プラン

- ①(仮称)出雲市環境保全推進協議会の設立

目標数値

エネルギー起源 CO₂ 排出量を平成 18 年度(2006)比 約 20%削減
平成 2 年度(1990)と同じ水準に抑制 (産業部門を除く)

基本目標 1 生活環境の目標

澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち


出雲市環境基本計画では、大気汚染測定値(浮遊粒子状物質:SPM)や類型指定河川水質(BOD)、ダイオキシン類の測定値などを「現状維持」、湖沼・海域の水質(COD)、騒音・振動の測定値などを「環境基準値内」等と目標を定めています。

大気環境は、光化学オキシダントを除いた3項目(二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質)とも環境基準を達成しており、おおむね良好な環境が維持されているといえます。

バイオディーゼル燃料製造量は約10%の減少となりましたが、その原因として、平成19年度、各家庭で保管していた古い廃食油が大量に出されたことにより一時的に回収量が多くなったと考えられます。

水環境は「類型指定河川」及び「海域」の水質測定値は昨年引き続き環境基準を達成、「類型未指定河川」は、今年度、市独自目標値を達成しました。しかし、「湖沼」は引き続き環境基準を超えています。

■大気環境の保全

| 目標設定項目 | 大気汚染測定値(SPM) 【参考】環境基準値 0.1mg/m ³ | 市の廃食用油回収によるバイオディーゼル燃料製造量 | 3km未満の市職員のノーマイカー通勤率 ※〔 〕はCO ₂ の年間排出量 | 空気のきれいさに対する満足度 |
|----------------|---|--------------------------|--|--------------------|
| H17(2005)計画策定時 | 年平均値 0.022mg/m ³ H16(2004)年度 | 28,230L | 57% H18(2006)年度 〔74,400kg-CO ₂ 〕 | 84% H18(2006)年度 |
| H19(2007) | 0.025mg/m ³ H18(2006)年度 | 40,405L | 46% 〔49,598kg-CO ₂ 〕 | 87% H20(2008)年度 |
| H20(2008)現状値 |  0.025mg/m ³ H19(2007)年度 | 36,043L | 48% 〔48,916kg-CO ₂ 〕 | 86% H21(2009)年度 |
| H23(2011)中間値 | 環境基準内を維持 | 60,000L | 80% | 85% |
| H28(2016)目標値 | 環境基準内を維持 | 80,000L | 80% | 90% |



用語解説

大気汚染測定値(浮遊粒子状物質:SPM)

大気中に浮遊する粒子状物質で粒径が10ミクロン以下のものを言います。SPMは微小のため大気中に長時間滞留し、肺や気管などに沈着して高濃度で呼吸器に悪影響を及ぼします。

環境基準

環境基本法に基づき政府が定める、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で、維持されることが望ましい基準のことです。

水環境の保全

| 目標設定項目 | 類型指定河川水質 (BOD) 【参考】環境基準値 1mg/l (3地点)、2mg/l (6地点) | 類型未指定河川水質 【市独自目標】BOD5mg/l 以下 | 湖沼水質 (宍道湖・神西湖) (COD) 【参考】環境基準値 (宍道湖 3mg/l・神西湖 5mg/l) | 海域水質 (日御碕・おわし海水浴場) (COD) 【参考】環境基準値 2mg/l |
|------------------|--|--|---|---|
| H17 (2005) 計画策定時 | 達成 | 未達成 | 未達成 | 未達成 2.2mg/l |
| H19 (2007) | 達成 | 未達成 | 未達成 | 達成 1.8mg/l |
| H20 (2008) 現状値 |  達成 |  達成 | 未達成 |  達成 1.7mg/l |
| H23 (2011) 中間値 | 環境基準内を維持 | 目標値内を維持 | 環境基準内を維持 | 環境基準内を維持 |
| H28 (2016) 目標値 | 環境基準内を維持 | 目標値内を維持 | 環境基準内を維持 | 環境基準内を維持 |

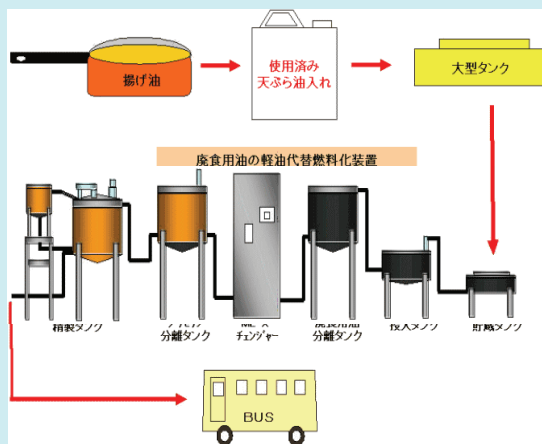
| 目標設定項目 | 水質調査箇所数 | 廃食用油回収量 | 汚水処理人口普及率 | 水のきれいさに対する満足度 ※アンケートの無回答を除いた割合 |
|------------------|--|---------|-----------|-----------------------------------|
| H17 (2005) 計画策定時 | 43箇所 | 28,230L | 61.4% | 45% H18 (2006) 年度 |
| H19 (2007) | 43箇所 | 40,405L | 66.9% | 53% H20 (2008) 年度 |
| H20 (2008) 現状値 |  43箇所 | 36,043L | 69.3% | 49% H21 (2009) 年度 |
| H23 (2011) 中間値 | 43箇所以上 | 60,000L | 77% | 50% |
| H28 (2016) 目標値 | 43箇所以上 | 80,000L | 87% | 70% |



トピックス

市の廃食用油回収によるバイオディーゼル燃料製造

バイオディーゼル燃料とは、市内の家庭などで使用された“てんぷら油（植物油のみ）”を軽油の代替燃料としてリサイクルした燃料です。京都議定書では、バイオディーゼルの原料となる生物が成長過程で光合成により大気中の二酸化炭素を吸収していることから、その生物から作られる燃料を燃焼させても大気中に存在した以上の二酸化炭素を発生させることはないという考えです。（カーボンニュートラル）



| No. | 施設名 | 役割 |
|-----|-------------|---|
| 1 | 貯蔵タンク | 回収してきた廃食用油を貯蔵します。 |
| 2 | 投入タンク | 揚げかす等の固形分を、2段式フィルターで取り除きます。 |
| 3 | 廃食用油分離タンク | 一晩置いて、沈殿した水分や不純物を取り除きます。 |
| 4 | ME・X・チェンジャー | 廃食用油に苛性カリ(触媒)とメタノールを加え、化学反応させます。※廃食用油200リットルに対して、触媒2.52キログラム、メタノール約36リットル加える。 |
| 5 | グリセリン分離タンク | 反応が終わって沈殿したグリセリンを下から取り除きます。※反応後の燃料235リットルからグリセリン約36リットルを取り除く。 |
| 6 | 精製タンク | できた燃料に含まれる不純物を取り除き、さらに純度を高めます。※できた燃料200リットル |



用語解説 類型指定河川

水質汚濁の環境基準は、河川、湖沼、海域ごとに利用目的に応じた類型とその基準値が定められており、国または都道府県知事はその水域を指定します。本市の河川では斐伊川、神戸川、平田船川、湯谷川が指定されています。

類型未指定河川

新内藤川、古井手川、赤川、保知石川、十間川、新町下水については、類型未指定河川として、魚が住める指標を参考に、本市独自の目標を設定しています。

◆その他の数値(参考)

・主な河川のBOD値

| | 主な河川のBOD値 | | |
|-------------|-----------|-------------|--------------|
| | 斐伊川 | 神戸川 (下流) | 平田船川 (下流) |
| 環境基準 | 1mg/L | 2mg/L | 2mg/L |
| H15(2003)年度 | 0.9 | 0.7 | 1.6 |
| H16(2004)年度 | 0.7 | 0.7 | 1.6 |
| H17(2005)年度 | 0.6 | 1.0 | 1.6 |
| H18(2006)年度 | 0.7 | 0.5 | 1.4 |
| H19(2007)年度 | 0.7 | 1.0 | 2.0 |
| H20(2008)年度 | 0.6 | 0.8 | 1.9 |

・下水道整備状況

| 汚水処理人口普及率 | |
|--------------------------------------|-------|
| 出雲市 | |
| H20(2008)年度末 | 69.3% |
| H17(2005)年度末 | 61.4% |
| 島根県 | |
| H19(2007)年度末 | 66.4% |
| H16(2004)年度末 | 58.8% |
| 全国平均 | |
| H19(2007)年度末 | 83.7% |
| H16(2004)年度末 | 79.4% |
| 出雲市水洗化率※ ¹ [接続人口/供用人口] | 88.2% |

・近年の苦情処理件数

| 年度 | 件数 |
|-------------|-----|
| H15(2003)年度 | 88 |
| H16(2004)年度 | 119 |
| H17(2005)年度 | 175 |
| H18(2006)年度 | 138 |
| H19(2007)年度 | 154 |
| H20(2008)年度 | 90 |

※野焼き、悪臭、騒音等

資料：出雲市資料

※1：H20(2008)年度現在

◆平成20年度の取り組み

神西湖エコあるーく

神西湖において、約120人が参加し、野鳥の観察やウォークコースに設けた問題を解きながら周辺のゴミ拾いを行いました。小学生もたくさん参加し、自然の大切さを感じてくれました。

- 開催日 平成21年2月28日(土)
- 場所 神西親水公園及びその周辺
- ごみの回収量 トラック1台 170kg



基本目標 2 自然環境の目標 人と自然がふれあい ともに生きるまち

出雲市環境基本計画では、出雲地域固有の動植物を適切に保全し、人との共生を図るとともに、自然に親しむ環境づくりや、国土保全など環境面からも大きな機能を有している森林・農地の保全・再生を目標としています。

本市では、宍道湖自然体験活動「親子しじみウォッチング」や出雲科学館において「身近な生き物の観察」、「野の体験」などの自然・環境教室を開催し、自然に親しむ環境づくりを進めています。



■野生動植物との共生

| 目標設定項目 | 野生動植物の生息に対する満足度 ※アンケートの無回答を除いた割合 |
|------------------|-------------------------------------|
| H17 (2005) 計画策定時 | 55% H18(2006)年度 |
| H19 (2007) | 60% H20(2008)年度 |
| H20 (2008) 現状値 | 58% H21(2009)年度 |
| H23 (2011) 中間値 | 60% |
| H28 (2016) 目標値 | 70% |

■豊かな自然とのふれあい

| 目標設定項目 | 自然体験事業参加者数 | 自然体験市有施設の利用者数 (うさぎ森林公園・目田森林公園・見晴らしの丘公園・風の子楽習館・浜遊自然館) |
|------------------|---|---|
| H17 (2005) 計画策定時 | 600 人 | 110,000 人 |
| H19 (2007) | 813 人 | 102,116 人 |
| H20 (2008) 現状値 |  1,465 人 | 105,674 人 |
| H23 (2011) 中間値 | 1,000 人 | 113,000 人 |
| H28 (2016) 目標値 | 1,500 人 | 116,000 人 |

■森林と農地の保全と再生

| 目標設定項目 | 針葉樹・広葉樹の植林面積(年当たり)※1ha あたり約3,000本 | グリーンツーリズム(田舎体験)の受入れ団体数 | アグリビジネススクール卒業生数(累計) | 学校給食における地場産品の使用割合(地産地消) | 野山や田畑の豊富さに対する満足度 ※アンケートの無回答を除いた割合 |
|------------------|--|------------------------|---------------------|-------------------------|--|
| H17 (2005) 計画策定時 | 6.5ha | 0 団体 | 43 人 H18(2006)年度 | 23% | 78% H18(2006)年度 |
| H19 (2007) | 7.8ha | 9 団体 | 83 人 | 23% | 82% H20(2008)年度 |
| H20 (2008) 現状値 |  12.2ha | 4 団体 | 130 人 | 28% |  83% H21(2009)年度 |
| H23 (2011) 中間値 | 6.5ha | 5 団体 | 268 人 | 30% | 80% |
| H28 (2016) 目標値 | 6.5ha | 10 団体 | 493 人 | 30% | 85% |



トピックス 地産地消

地産地消とは地域で生産されたものをその地域で消費することですが、その活動を通じて「顔が見える、話ができる」ことで生産者と消費者を結びつける取組みも含まれています。消費者と生産者の距離が近いことにより、消費者の「地場農産物」への愛着心や安心感が深まるとともに地場農産物の消費拡大、地元生産者の営農意欲の向上となり農地の荒廃なども防ぐことができます。

また、生産地と消費地が遠くなるとエネルギーがより多く消費され、二酸化炭素が排出されることにより地球環境に大きな負荷をかけることとなります。農林水産省の2001年の試算によると日本のフード・マイレージ(食料の輸送距離)は世界中で群を抜いて大きく、国民一人当たりのでも1位となっています。

◆平成 20 年度の取り組み

・自然環境学習事業

出雲科学館を中心に、身近な生き物の観察や植物の観察など、自然・環境学習教室を開催。1年を通じて16種類、合計46回の教室を開催し、1,313人が参加しました。



・出雲科学アカデミー

社会の変化と多様化に対応できる人材育成とともに、多様な市民の学習意欲に応えるため、生涯学習事業を統合的・体系的に実施するもので、多義にわたり講座を開催しています。その1つとして環境に関する講座を開催し49人が参加しました。

・「出雲ふるさとの森」事業

横浜国立大学名誉教授の宮脇昭氏の指導のもと、平成13年度から毎年、シイ、タブ、カシなど広葉樹の植栽を行っています。

平成20年度は多伎町見晴らしの丘公園を会場に、岐久小学校の児童と市民180人で約1,700本の苗木を植えました。

これまでの事業により、約5,000人の参加者とともに約3.6haに緑が蘇っています。今後も森林の持つ機能を回復させ、保全していくため、市民とともに取り組んでいきます。



基本目標 3 快適環境の目標

悠久の歴史が息づく 美観と快適空間のまち

本市には、古くからの町なみや築地松など特徴ある景観が多く見られ、市内の様々な緑は潤いと安らぎのある快適な空間をつくりだしています。


本市では緑化及び防災を推進するため、公道に面する住宅敷地に生け垣を設置される方に対し「生け垣設置奨励金」を交付する他、公園・街路への植樹を推進するなど、緑地の確保と創出に努めています。

「公園や広場に対する満足度」、「都市の緑化に対する満足度」が減少しています。特に公園や広場に関する満足度が大幅に減少しており、原因は何かを調査し対応を取るべきだと考えます。

ポイ捨てごみ回収量（定期観測）は大幅増となっており、タバコの吸殻や空き缶をはじめ家庭ごみの投棄などもありました。今後もポイ捨て禁止運動などの活動を続け、きれいで住みよい町をつくるための周知を図ることが必要です。

■景観保全と緑地の確保

| 目標設定項目 | 生垣奨励補助金件数 | 都市公園整備率 (1人あたり) | 街路樹の植栽本数 (累計：中・高木) | 出雲「花と緑」総合フェスティバル入場者数 |
|----------------|-----------|---------------------|-----------------------|---|
| H17(2005)計画策定時 | 24件 | 11.7m ² | 2,330本 | 20,000人 |
| H19(2007) | 26件 | 12.24m ² | 2,393本 | 20,000人 |
| H20(2008)現状値 | 19件 | 12.63m ² | 2,504本 |  20,000人 |
| H23(2011)中間値 | 35件 | 13.5m ² | 2,880本 | 20,000人 |
| H28(2016)目標値 | 40件 | 14.0m ² | 3,430本 | 20,000人 |

| 目標設定項目 | 公園や広場に対する満足度※アンケートの無回答を除いた割合 | 都市の緑化に対する満足度※アンケートの無回答を除いた割合 | 景観に対する満足度※アンケートの無回答を除いた割合 |
|----------------|--|------------------------------|---------------------------|
| H17(2005)計画策定時 | 47% H18(2006)年度 | 51% H18(2006)年度 | 42% H18(2006)年度 |
| H19(2007) | 58% H20(2008)年度 | 54% H20(2008)年度 | 46% H20(2008)年度 |
| H20(2008)現状値 |  51% H21(2009)年度 | 52% H21(2009)年度 | 46% H21(2009)年度 |
| H23(2011)中間値 | 50% | 55% | 50% |
| H28(2016)目標値 | 55% | 60% | 60% |



トピックス

生け垣設置奨励金について

生け垣は、地域の緑を増やしていくだけでなく、騒音を吸収したり、夏の日差しと照り返しを和らげたりする効果があります。本市では、緑化及び防災を推進するために、住宅敷地の公道に面するところに、生け垣を設置される方に「生け垣設置奨励金」を交付しています。

※交付の要件などありますので詳しくは、市役所まで問合せください。